

かほく市地域包括支援センター運営協議会 令和2年度第3回会議報告

招集年月日	令和3年3月22日(月)
招集場所	かほく市役所302会議室
開会日時	令和3年3月22日(月)午後7時15分
閉会日時	同 午後7時50分
委員の定数	10人
出席委員	藤田拓也、角田真、曾根志穂、梶美恵子、中森茂雄、東敦子、遠田由美子、増田美弥、高田政美
欠席委員	鶴見留治
事務局	寺嶋立弥長寿介護課長、七野奈美喜長寿介護課課長補佐、藤井美喜子主幹兼高齢者支援係長、谷内憂子介護予防係長
議 事 の 経 過	
会長進行	事務局より議件についての説明をお願いします。
事務局より	議件1) 令和2年度高齢者支援センター業務実績見込について報告
順次説明	(質疑応答)
委員	・認知症普及啓発のYou Tubeはもうアップしているか。視聴回数はどうか。検索はどのようにすればよいか。
事務局	→回答: You Tubeは始まっており、番組は55分で10分ごとの構成になっており1番から5番までを開いてみる必要がある。視聴回数を伸ばすためにも、是非委員の皆様にも視聴していただきたい。検索は、「かほく市」「認知症」で検索できる。対談形式で、高松病院の北村先生と沖野内科医院の沖野先生が出演している。
委員	・百歳体操が42か所中33か所のみ活動中となっているが、皆さんに声かけして実施しているのか。
事務局	→回答: 住民主体の立ち上げ支援を行ってきたが、今年度はコロナの影響により自粛しているところがある。住民が話し合って実施を決めている。再開や継続しているグループには、感染症予防対策の説明や体温計の配布等を行っている。
委員	・コロナ禍で、心のケア、生活に困った等の相談はあるか。
事務局	→回答: 社会交流が減ったことにより認知症の発症や悪化の相談がある。また、自宅での生活が増えたことにより家族間のトラブルや虐待につながるような事例もあった。
委員	・県としては、地域ケア会議を進めてほしい。かほく市は、個別会議をしたり、各コーディネーターの連携会議をしているが、全体の中での地域ケア会議がどのようにつながっているのか。次年度どのような方向性で繋げていくのか。

事務局	→回答：地域ケア個別会議は、コロナ禍で実施回数が少ないが、本来はこの中で出た課題を全体会議で出していきたいかったが今年度はできなかった。次年度は、今年度コーディネーターが実態把握した内容を全体会議でも話し合いし施策化していきたい。
事務局より 説明 委員 事務局	議件2) 令和3年度かほく市地域包括支援センター（高齢者支援センター）運営方針及び令和3年度の重点事業について報告 ・紙おむつ支給事業の制限は財源の問題か。
委員	→回答：H27 度までに実施していた自治体は実施できる事業で、かほく市はH27 度以前から実施してたので継続して実施してたが、国は地域支援事業として縮小の方針を出していた。今年度、本人課税は補助の対象外とするの方針を出され、一般会計で実施する。月の上限額については 5500 円と示されたため、6000 円が 5500 円となる。
事務局	・認知症の見守りネットワークの利用者やボランティアの見込はどれくらいか。
事務局	→回答：この事業は石川中央圏域で足並みをそろえて実施するもので、金沢市ではすでに実施されている。現在、見守り台帳には 40 人登録しており、そのうち 10 名程度の利用を見込んでいる。ボランティアは、多ければ多いほど良いと考えているので、普及に努めていきたい。
事務局より 説明 委員	議件3) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託事業所の承認について 新規事業所2件分を説明 拍手にて全員承認
事務局	その他として、委員の任期が3月末で終了となる。次年度の委員委嘱について改めて新年度に各団体の代表に選考をお願いしたい。